

日本の知恵、  
プラスチックの知恵

## 江戸っ子の好奇心が華を咲かせた、筒の中

万華鏡が日本に渡来したのは、江戸時代後期の文政2年（1819）ころ。その3年前、スコットランドの物理学者が灯台の光を遠くへ届かせる研究の途中で見つけたのが、万華鏡の原理でした。今のように情報網もない時代に、驚異的な速さで日本に伝わりました。当時の『摂陽奇観』という書物には、大坂で賈物が出るほどの人気ぶりだったことが記録されています。

万華鏡は、筒の中に入れた鏡に映る色ガラスなどが光に反射し、ステンドグラスのような美しい映像が広がる世界。人々は「百色眼鏡」や「錦眼鏡」とも呼び、高価な更紗の布で筒を包んで「更紗眼鏡」として珍重したりもしました。次々と筒の中に咲く新しい世界に、江戸の人々は魅了されました。

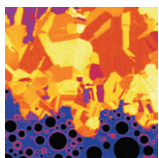
この江戸の万華鏡のように、企業が新しい技術や研究の花を咲かせるために、サポートをしているのが住ベリサーチ株式会社。未来の企業の姿を映し出すための「分析評価・調査のプロフェッショナル」として、各種の評価試験や分析、解析をはじめ、技術動向や市場の調査を行い、その結果をレポートしています。

# 万華鏡



万華鏡の世界のような  
「信頼性評価試験」による電子顕微鏡画像

スマートフォンの信頼性評価をするには、電子基板の細部を観察する必要があります。基板断面を電子顕微鏡で覗くと、オレンジのモザイク模様部分は電気を通す銅回路、紫と黒の水玉模様部分は電気を通さないプラスチックです。まるで、万華鏡の中に入れた貴石を眺めているような画像ですが、このように銅回路とプラスチックが隙間なく密着している事が、信頼性の向上へとつながるのです。



プラスチックのパイオニア

住友ベークライト株式会社

住ベリサーチ株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル  
TEL:03-5462-4111 FAX:03-5462-4873 <http://www.sb-r.co.jp>